一人につき２項目までを要約して掲載しています。各議員の全質問事項は、市議会ホームページをご覧ください。また、提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。

▲市議会HP



寺戸（てらど） 睦子（むつこ） 議員（真風）

のりあい交通の周知強化を

答弁…一層の周知啓発に取り組んでいく

▲録画配信
（９月２日一般質問）

問　のりあい交通について以下３点を伺う。①子育て関連等施設（児童館・こもれびの森等）での周知強化。②若い世代の利用促進に向けたモニターキャンペーンの実施。③子育て世代や若年層への情報発信の充実に向けたシラオ仮面活用による広報拡充の検討。

答　①子育て関連施設に登録申請ができるＱＲコード付きの案内ポスターを掲示し、周知を強化する。②モニターキャンペーンは運行体制の維持や効率化等の課題と併せて将来的な可能性を整理する。③シラオ仮面を活用したＰＲ動画やＳＮＳでの情報発信を図る。

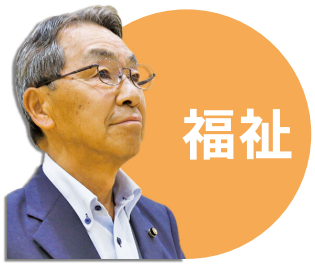

のりあい交通

子育　子育て支援拡充と給食費の補助公平化を

答弁…社会情勢を踏まえ子育て支援に取り組む

問　市が重点的に推進している子育て支援施策は。また、当市中学生の市内外通学状況と、市立のみ給食費補助対象とする理由を伺う。さらに、市内通学者と同等の補助を望む市外通学者の保護者からの声を踏まえ、通学先にかかわらず補助ができないか伺う。

答　こども家庭センターによる包括的支援、子どもの居場所づくり、保育所の計画的整備を重点的に推進している。通学の状況は市内約95％、市外約5％。給食費補助は市立学校給食事業への支援制度であり、市外通学者への基準設定が困難なため、拡大の予定はない。



浜口（はまぐち） 清志（きよし） 議員（日本共産党）

高齢者補聴器購入助成の更なる充実を

答弁…必要に応じて制度の見直しを検討する

▲録画配信
（９月２日一般質問）

問　この助成事業は、令和７年７月から開始されたが、今年度の申請の状況は。

　令和７年度における県内自治体の平均助成金額は、２万６千円であった。来年度予算編成に向け、他の自治体の事例を踏まえ、上限を２万円から更に増額する考えは。

答　今年度は７月末時点で、11名の申請があった。昨年7月に開始したばかりの取組のため、まずは利用状況や手続き方法などの検証・分析を優先し、今後の運用の過程において、他自治体の事例なども参考にしつつ、必要に応じて制度の見直しについて検討していく。



防災　災害時協力井戸の制度周知と登録目標は

答弁…災害時協力井戸の登録者の増加に努める

問　災害時協力井戸とは、大規模な災害で水道が断水したときに、近隣の住民へ生活用水として提供してもらうため、自治体に登録された個人や法人の井戸である。制度の周知の方法はどのように行っているか。災害時協力井戸の登録目標をどのように考えているか。

答　制度周知及び登録者の募集をホームページや広報紙、行政区等への案内、イベントでのチラシ配布など多方面で実施している。登録目標数の設定はないが、登録者の少ないエリアに重点を置いた周知を行うなど、効果的な方法を模索し、登録者の増加に努める。